

令和4年度事業報告書

令和5年5月27日

明德保育園 園長 豊田 誠

当該事業報告書は次のとおりであります

保育の目標

保育の特色

1 施設事業運営

(1) 児童処遇

ア 年間入所児童数

イ 園児の健康管理

ウ 栄養管理

エ 保育

オ 園児の安全管理

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

イ 職員の健康管理

ウ 労務管理

エ 研修・講習等

オ 職員会議

カ 福利・厚生

2 施設業務運営

(1) 運営関係

(2) 児童処遇

(3) 設備関係

(4) 修繕関係

(5) 災害対策

(6) 年間実施行事

(7) 地域との連携

(8) その他

保育理念

一人ひとりが宝物
一緒に育とう 育てよう
かがやく笑顔 明德保育園

保育方針

- * 多様な個性を大切にします
- * 子どもも保護者も職員も一緒に笑顔になりましょう

保育目標

- * 「みんなちがって、みんないい」の心を育てます
- * 大人も子どもも安心して過ごせる居場所を作ります
- * 子どもの「やりたい！」をかなえる環境を作ります
- * 自分で考えて行動できる力を育てます
- * 食に興味のある子どもを育てます
- * 子育てを一緒に考え応援します

保育の特色

- ・ 生後 57 日目の乳児から保育を行なう
- ・ 午前 7 時 00 分から午後 7 時まで 11 時間開所保育及び延長保育の実施
- ・ 園舎内における裸足・薄着の励行で丈夫なからだ作りをする
- ・ リトミック・ことば遊び・体育遊びをとりいれ心身の成長を図る
- ・ 習字（年長児）文字に興味をもつ。
- ・ 散歩、戸外遊びをして情緒の安定を図る
- ・ 衛生指導 爪の検査、子供の健康とからだの仕組みを把握する
- ・ 障害児との統合保育、
- ・ ホームページの掲載充実、デイケアセンターとの交流
- ・ 行事ごと写真入りのお便りをその日のうちに作成して掲示・配信をする。
- ・ 保育の中に食育を取り入れ、給食の素材の手伝うことにより食べることに関心を持ち食べる意欲を高める。

1. 施設事業運営

(1) 児童処遇

ア 令和4年度入園児童数および今年の特徴

令和4年度年間在籍児童数

	0才	1才	2才	3才	4才	5才	合計
4月	12	20	22	22	22	22	120
5月	12	20	22	22	22	22	120
6月	12	20	22	22	22	22	120
7月	12	20	22	22	22	22	120
8月	12	20	22	22	22	22	120
9月	12	20	22	22	22	22	120
10月	12	20	22	22	22	22	120
11月	12	20	22	22	22	22	120
12月	12	20	22	22	22	22	120
1月	12	20	22	22	22	22	120
2月	12	20	22	22	22	22	120
3月	12	20	22	22	22	22	120
合計	144	240	264	264	264	264	1,440

- ・ **令和4年度は入園予定の通りの人数でのスタートとなった。**
- ・ 令和4年度も配慮が必要な子どもがいたため、安全・発育促進のため加算を申請し、認められた。3歳時クラスは職員の配置改善加算を申請、15:1の配置とした。今後も発育状況を見ながら必要に応じて対応を行いたい。
令和5年度も引き続き継続していく。
令和5年度は一次・二次ともに欠員が無かったが、3月になってから辞退・引越等があったため、0才1名、4才2名の3名欠員でのスタートとなった。

イ. 園児の健康管理

園医 内科医 有村医師

歯科医 茂手木医師 臨床検査 立川臨床

令和3年度も毎月の乳児検診を含め、検診や歯科検診を実施。

また、毎月1回の身長、体重測定（看護師による）。手洗い指導、衛生管理指導、乳児室の消毒、しらみなどの頭髪の検査や空気清浄（空気清浄機）などを実施した。

- ・ こどものけが、応急手当、医師への連絡、緊急時の対応、保護者への連絡、お迎えまでの病児の看護、観察、感染症の予防、予約依頼書による投薬管理
- ・ 夏期のプールは実施しなかった。
- ・ 感染症に関しては、新型コロナ対策のため、消毒、手洗い等をこまめに行い、感染拡大防止に努めたが、7月末から8月、12月に感染が広がり、クラス閉鎖を行った。

職員に関する健康注意

- ・ 職員の手洗い（逆性石鹼による消毒）おむつ交換、排泄時の始末消毒などの徹底）毎月の細菌検査、年1回の健康診断の実施、給食時の配膳時の使い捨ての手袋の着用などを実施。
- ・ 吐しゃ物処理時の使い捨てエプロンの着用など、園での対応の意思統一を行なった。

ウ. 栄養管理

	1日の熱量 (kcal)	1日のたんぱく質 (g)
3才未満児	451 kcal	14.7 g
3才以上児	544 kcal	18.6 g

執行献立内での栄養摂取量も平均を超える位の状況で園児たちの食への関心は深くどの子も楽しんで食べていた。手作りおやつ、調味料も自然のものを子供の食と安全に気をつけより質の高い給食をこどもに提供することができた。

今後も献立を「和食」を中心に構成し、進めていきたい。

* 献立作成の特徴と留意点

- ・ 献立では「和食中心」を打ち出し、保護者にもアピールしながら進めた。栄養のバランスと和、洋、中の組み合わせの献立を考慮し、行事食のメニューは視覚でも楽しめるものを取り入れた。
- ・ 例年は調理保育をクラスごとに企画して献立と調整をとり、保育の中に取り入れ給食の一部として調理に参加するが、今年度も新型コロナにより実施できなかった。

- ・ 令和4年度ものぞみ保育園、みらい保育園、明德保育園と3園の栄養士が交代で共通献立を作成し、各保育園のお互いの新メニューを取り入れる事を続けているが、先方より終了したいとの要望があったため、令和4年度をもって終了とする事とした。
- ・ 朝7時から夜7時までの保育児に対しても補食の工夫を行なう。
- ・ 令和4年度も除去食が必要な園児がいたが、新型コロナにより職員体制に変更があるなど、通常と異なる状況であったため、全ての献立をアレルギー対象の食材を使わないものに変更して対応した。令和5年度は過去の経験を継承していくため、代替え食を実施予定である。
- ・ 乳児幼児の発達の考慮で献立をわけたり切り方の配慮をしたり、偏った素材のないような配慮をしている。

*保護者への対応

- ・ ICT化を進め、登降園や連絡などタブレットやスマホからアプリで行う様に変更し、保護者も慣れてきたが、離婚協議中の保護者の取り扱いに困る状況が出てきている。
- ・ 乳児、幼児の献立表、給食だよりの配布などは、ICT化によりアプリで見る様に変更したので、印刷から配布までの手間が減り、紙も消費しないので環境対策にもなっている。
- ・ 各クラス懇談会は可能な範囲で実施したが、試食等はできなかった。
- ・ 食の細い子、発育の悪い子、好き嫌いの子などの保護者の相談や保護者との面談もおこない家庭での食事の状態などの記録もして個別に食事状態を把握した。
- ・ 毎日の給食の展示。

エ) 保 育

*保育計画（カリキュラム）作成

- ・ 例年と異なり、行事以外についても制限される事が多く、工夫しながら保育を行った。
- ・ リトミックなど、外部講師を招いての研修は内容を変更しながら可能な範囲で実施した。
- ・ 保育計画や個別カリキュラムなどについてはエクセル等でICT化している。
- ・ 0歳児については、担当制を実施してみたが、実績として良い部分が多く、1歳児でも取り入れ、2歳児にも拡大中である。令和5年度も引き続き実施したい。
- ・ 幼児については、異年齢での保育を増やした。こちらについても令和5年度も継続していく。

*保育の状況

4月→新園舎で4年目のスタート。

新年度も新型コロナの影響が大きく、入園式を含めて、行事ほぼ全てを見直しながら実施している。

5月→園舎の4年点検で見つかった問題個所を全て修理（無償）していただいたため、小規模改修とは不要な状況である。

6月→運動会を2階園庭で行い、様子を配信して保護者の方に楽しんでいただいた。

7月→年長児の最大イベントお泊り保育は新型コロナのため形式を変え、川で遊んだ後、園に戻って楽しむ特別保育とした。

月末に新型コロナの陽性者が確認され、同クラスを中心に拡大したが、治癒期間後はそれ以上拡大せず収まった。クラス閉鎖のタイミングや期間等は適切であったと思われる。

8月→プールについても行わず、水遊びを実施した。

9月→引き渡し訓練を実施（保護者参加なしでの訓練）

10月→再び新型コロナの陽性者が確認され、クラス閉鎖を実施した。

12月→園内でクラスごとに発表会を行ない、人数制限をして保護者の方にも参加していただいた。

1月→落ち着いた状況で新年を迎えられた。

残念ながら、もちつきは中止とし、「めいとくフェスタ」として飲食を伴わない内容の行事として実施した。令和5年度以降も「もちつき」は行わず、別の内容で実施する事とした。

03月→昨年度と同様に、新型コロナウイルスの影響で、お別れ遠足、お別れ会、卒園式など内容変更など、感染拡大防止の対策をとりながらの実施となった。

卒園式は二度とない行事なので、参加人数を減らすなど対策をして実施したが、結果的にはやっとなかった。

新型コロナウイルスへの対応としては、登園自粛のお願いなど園の方針での対策を行った。

*地域交流

- | | |
|-----------------|---------------------------------|
| ・いっしょに遊ぼう | 新型コロナにより中止 |
| ・地域の子育て世帯との交流保育 | ふれあい動物園、運動会、観劇会などは、方法などを変更して実施。 |
| ・小学生との交流 | 新型コロナにより中止 |
| ・世代間交流、お年寄りとの交流 | 新型コロナにより中止 |
| ・小中高生の育児体験受け入れ | 新型コロナにより中止 |
| ・保育所体験 | 新型コロナにより中止 |

オ. 園児の安全管理

- ・朝の始業前に行うミーティングでのその日の各クラスの保育予定と安全確認の諸注意、子どもの伝達事項、伝染性疾患の連絡、職員の連絡。給食よりアレルギー児の献立の連絡。
- ・園外保育に行った時の注意事項の確認。行った先での遊具の消毒等も引き続き実施。
- ・SIDSの注意と職員研修と実践、就寝中の定期的な視診と記録。
- ・保育室内外の障害物の定期点検、園庭整備
- ・非常通報装置による緊急時の通報システム、放送設備の点検
- ・室内の環境整備、危険防止対策

(2) 職員処遇

ア) 職員構成

年間職員構成表

	園長	主任保育士	保育士	保健師	給食	事務	障害児パート 延長パート	その他	計
4月	1	1	21	1	7	1	12	3	47
5月	1	1	21	1	7	1	12	3	47
6月	1	1	21	1	7	1	12	3	47
7月	1	1	21	1	7	1	12	3	47
8月	1	1	21	1	7	1	12	3	47
9月	1	1	21	1	7	1	12	3	47
10月	1	1	21	1	7	1	12	3	47
11月	1	1	21	1	7	1	12	3	47
12月	1	1	21	1	7	1	12	4	48
1月	1	1	21	1	7	1	12	4	48
2月	1	1	21	1	7	1	12	4	48
3月	1	1	21	1	7	1	12	4	48

他の法人では保育士の確保が困難なため、受入れ人数を減らしている園もあるが、新卒を含めほぼ予定通りの採用が出来たため、定員いっぱいの受入れが可能となった。

体調不良により退職となった職員もいたが、代替りの職員の採用も問題なく行えた。

また、産休・育休職員が出たが、代替え職員の確保も問題なくできた。

イ) 職員の健康管理

全職員の健康診断を行なった。35歳以上の職員は生活習慣病健診 35歳未満の職員は若年健診を行なった。

- ・乳児担当職員、給食担当職員は毎月1回、全職員は年2回のO-157を含む細菌検査を立川臨床で実施する。
- ・今年もインフルエンザ予防接種をうけた職員の接種費用の一部補助をした。

ウ) 労務管理

- ・有給休暇の消化を励行した。
令和3年度については、保育の現場に問題が無い範囲で土曜の出勤日数を減らした。
- ・時間休暇、介護休暇や看護休暇等も多く職員が利用している。
- ・36協定等の締結

エ) 研修・講習

- ・職場内研修

新型コロナで控えていたリトミックなど外部講師を呼んでの職員への園内研修も実施できた。

・外部研修

新型コロナにより中止や延期になる研修が多かったが、Webにより受講できるものが増えてきたため ZOOM 等で受講した。

Web による研修は、会場への往復がなく、環境さえ整えば複数人でも受講できるものもあり、良い面もあった。開催日が休日の場合も自宅等で受講可能なので受講する機会が多くなる。

オ) 職員会議

- ・毎月 1 回の職員会議→全職員参加 行事計画、懸案事項、研修会伝達
パート会議→午前、午後のパート会議、行事計画、仕事の意見等
- ・リーダー会議→園長、主任、副主任、各クラスリーダー、栄養士、看護師が参加し各職種の園の主要な全体的な案件事項、行事等の方針を話し合い大筋を決めた。
- ・勉強会→毎月勉強テーマの計画をたて計画に沿って出席する職員を決め勉強をした。
- ・カリキュラム会議→ 月のカリキュラムの反省、来月の予定など事前にクラスでの話し合いをして説明をする。またテーマ毎の遊びの実践、体育遊び、リトミック、言葉遊び
年間計画、実践報告、園児の状況、クラスの状況等の伝達と話し合い。
- ・朝のミーティング→就業前に全員で一日の予定、伝達事項、注意事項などについて話し合う
- ・行事の実行委員会→担当の職員による行事の企画、実践
- ・園内管理職会議→園長、主任、副主任、乳児、幼児責任者との方向会議を懸案毎に行った。
- ・栄養士、0 才児担当者との離乳食会議→栄養士、0 才保育士、看護師出席で行った。

カ) 福利・厚生

- ・今年度は新型コロナにより懇親会を含めて何もできず残念であった。

2. 施設業務運営

(1) 運営関係

令和 4 年度も児童、保護者、職員に感染者がでるなど、新型コロナへの対応に始終した一年であった。保育のやり方や行事など、見直しを繰り返しながらの運営となった。

すべてリスクとのバランスによる部分が大きいため、内容や時期など難しい所であった。

(2) 児童処遇

事業費支出では保育材料も予算どおりの執行であり、遊具も発育に適したものを見直して、新しく購入、整備をした。予算の範囲内で無理なく執行できた。

また、給食は「和食」を中心とし、添加物の少ない素材を使い、決められた予算の範囲で執行できた。

今年度は、今までのステリプロによる除菌・消毒に加えて、アルコールによる消毒も実施した。

(3) 設備関係

紙のタイムカードからタブレットを使った打刻に変更した。集計や確認等が少し楽になり、主任の負担が減った様である。老朽化した PC の一部を入れ替えた。

今後も ZOOM 等で会議や研修が増えると思われるため、ネット回線の見直しなど、さらに環境を整えたい。

(4) 修繕関係

園舎が新しいため、大きな修繕は無いが、コンセントに増設やスイッチの追加など必要に応じて対応を行った。

(5) 災害対策

災害用食料品の補充入れ替えを実施。毎月1回の避難訓練に必ず消火訓練を行なった。9月には引き渡し訓練を行い、訓練前には防災グッズ等の展示をし、意識の向上を行った。避難用品をもう一度見直しをし、保管場所の確認、非常食品の賞味期限の点検も行う。

(6) 令和4年度実施行事

令和4年度実施行事

月	実施行事	保健行事
4月	入園進級式 各クラス懇談会 誕生会 こいのぼり集会	・身体測定 ・0才内科健診
5月	誕生会	・0才内科健診 ・全園児検診
6月	運動会 (ミニ運動会) 移動動物園 誕生会	・0才内科健診 ・歯科衛生指導
7月	誕生会 お泊り保育 ※内容変更 宿泊なし トウモロコシ収穫体験	・0才内科健診
8月	誕生会	・0才内科健診
9月	引き渡し訓練 誕生会 カレー作成のライブ中継	・0才内科健診
10月	誕生会 いもほり	・全園児健診
11月	七五三集会 誕生会	・0才内科健診 ・視力検査
12月	生活発表会 ※内容変更 クリスマス誕生会	・0才内科健診 ・うがい指導
1月	観劇会 誕生会 もちつきフェスタ→めいとくフェスタ	・0才内科健診
2月	懇談会 誕生会	・0才内科健診
3月	ひな祭り誕生会 お別れ遠足 ※内容変更 新入園児説明会 ※内容変更 卒園式 ※縮小して実施	・0才内科健診

毎月1回行事 避難訓練、全園児身体測定 毎月2回 体育指導

(7) 地域社会との連携

事業計画に基づいて地域子育て支援を積極的に取り組む予定であったが、新型コロナにより中止とした。

第三者評価について

令和4年度は第三者評価を実施せず、令和5年度に実施予定。

(8) その他

令和4年度は、児童・保護者や職員に感染者が出るなど、予想以上に新型コロナへの対応が必要となった。陽性者が確認されたため、クラス閉鎖を2回実施する事になったが、保護者も協力的であり、スムーズに十分な対策ができたため、感染の拡大も防止できた。

他の園での新型コロナによる休園やクラス閉鎖が多く発生したため、子どもを預けている職員が出勤できない状況も発生したが、職員間で協力しながら乗り切ることができた。

また、初めて新しい歯科医さんの検診となった、とても丁寧で職員には好評であった。

令和4年度は物価高騰が大きく実感できるほど、各種品物やサービスの価格が上がった。

特に電気代等のエネルギーは3年間かけて節約した(金額約100万)が節約前と同額まで上昇した。令和5年度はごみの処理費用なども40%アップが確定しており、工夫が必要と思われる。